



--- //JACAB//APPROVED---

NO. 200-003 DATE 9-20-1976 (SUPERSEDES NO.)
 REV. DATE (SUPERSEDES NO.)
 REASON

1. 標 題： FA-200フラップ・コントロール・ケーブルの調整方法について
2. 適用機体： FA-200全機（但しFA-200, #244以降の機体に装備しているマニュアルには、この手順が記載されている。）
3. 適用度： 要望事項
4. 目 的： FA-200サービス・マニュアルに記載されているフラップ系統調整手順をより明確にするため、その手順の1部を変更する。
この手順によって調整を行った場合、ケーブルテンション測定は不要となる。
5. 指 示： FA-200サービス・マニュアル、項目8-3-3「フラップ系統の調整」を本テクニカル・ブリテンにより全面改訂する。
6. 実施時期： フラップ・コントロール・ケーブル、テンション点検及び調整時。
7. 承 認： 航空局承認対象外
8. 所要部品： なし
9. 特殊工具： なし
10. 重量重心： 不変
11. 準拠資料： なし
12. 作業手順：
 - (1) レバーのラッチをラチェットの一番下の溝に入れてレバーを固定する。
 - (2) トルク・チューブ・アームと舵面をロッド〔A〕で結合する。
 - (3) 上索の調整
 - a. トルク・チューブ中央部にあをストッパー・ボルト〔B〕2本がボックス側面のストッパー・ボルト〔C〕に接触するまで張り、更にターンバックルの回転数で1/2～1 1/2回転程度まで索を張る。
 - b. トルク・チューブ・アームと舵面をつなぐロッド〔A〕の長さを調整して舵面を中立位置にする。

(4) 下索の調整

a. トルク・チューブ中央部にあるストッパー・ボルト〔B〕とボックス側面のストッパー・ボルト〔C〕に隙間ができない程度に下索を張る。

(5) レバーを引き上げてレバーのラッチをラチェットの一番上の溝に入れた時、レバーのドラムに取付けてあるストッパー・ボルト〔D〕がラチェット・バー〔E〕に当たるように、ボルト〔D〕を調整する。

この時、舵角が下げ $35^{\circ} \pm \frac{2^{\circ}}{1}$ であることを確認する。

(6) ターン・バックルにクリップ (MS2 12 5 6-1) 又はからげ線をかける (サービス・マニュアル 8-3 参照)。

(7) 調整後フラップにガタがある場合は、フラップ外舷ヒンジ部にゴム (200-160001-037) をガタに応じて接着のこと。

